



Sharing Energy with the World

Energy supports everyday life and society.
Providing energy when and where it's needed,
Is our greatest responsibility.

伊藤忠エネクス株式会社 2012年3月期決算説明資料

CONTENTS

(P2)	環境認識
(P3)	連結損益計算書
(P4)	連結貸借対照表
(P5)	連結キャッシュ・フロー計算書
(P6)	連結販売数量
(P7)	セグメント別情報
(P8)	成長戦略1. コア事業の強化
(P10)	成長戦略2. 新規事業の展開
(P18)	Core & Synergy2013
(P19)	2013年3月期通期見通し
(P25)	配当方針

環境認識

		2010年 3月末時点	2011年 3月末時点	2012年 3月末時点	前期差
DUBAI原油	\$/BBL	78.65 (3/31時点)	109.48 (3/31時点)	120.41 (3/30時点)	+10.93
通関CIF原油	円/KL	43,382 (3月平均)	53,400 (3月平均)	61,872 (3月平均)	+8,472
CP(プロパン)	\$/トン	730 (3月分)	820 (3月分)	1,230 (3月分)	+410
WS(ワールドスケール)	—	126 (3月平均)	129 (3月平均)	121 (3月平均)	△8
為替(TTS)	円/\$	94.04 (3/31時点)	84.15 (3/31時点)	83.19 (3/30時点)	△0.96
エネクス株価	円/株	493 (3/31時点)	476 (3/31時点)	489 (3/30時点)	+13

連結損益計算書

(単位:億円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	増減率
売上高	11,857	14,142	19.3%
営業利益	90	90	△0.6%
経常利益	96	95	△1.6%
当期純利益	39	39	0.2%

POINT

- 【 売上高 】 原油価格の高騰に伴う売価の上昇等
- 【 営業利益 】 原油価格高騰に伴う利幅縮小
- 【 当期純利益 】 特別損益の改善等

連結貸借対照表

(単位:億円)

	2011年3月末	2012年3月末	増減額
流動資産	1,679	1,979	299
固定資産	1,096	1,072	△ 25
流動負債	1,391	1,731	340
固定負債	443	358	△ 85
純資産	941	961	20
総資産	2,776	3,051	275

POINT

- 【流動資産】 売上債権の増加
- 【流動負債】 仕入債務の増加
- 【純資産】 配当金の支払、自己株式の取得、当期純利益の計上等

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	増減額
営業活動CF	115	△ 3	△ 118
投資活動CF	△ 83	△ 69	14
財務活動CF	△ 71	△ 14	57
<hr/>			
	2011年3月末	2012年3月末	増減額
現金同等物 期末残高	237	153	△ 84

POINT

- 【営業活動CF】 売上債権増加等の売買資金支出、法人税等の支払
- 【投資活動CF】 JEN設備投資等による有形固定資産、無形固定資産の取得
- 【財務活動CF】 借入金等の有利子負債の増加による収入、配当金支払による支出、自己株式取得による支出

連結販売数量（主要6品目）

（単位：千kl、千t）

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	前年同期 増減率
ガソリン（千kl）	3,982	4,266	7.1%
灯油（千kl）	1,843	2,150	16.7%
軽油（千kl）	3,069	3,214	4.7%
重油（千kl）	4,696	5,084	8.3%
燃料油【計】（千kl）	13,590	14,714	8.3%
アスファルト（千t）	261	300	15.0%
LPガス（千t）	681	633	△7.0%

POINT

【灯油・アスファルト】産業マテリアル事業本部等の新規顧客獲得による増販
 【LPガス】第1～3四半期の需要減退による減販

セグメント別情報

		2011年3月期 実績	2012年3月期実績			増減率
			上期実績	下期実績	通期実績	
IM	売上高	1,057	604	864	1,468	38.9%
	営業利益	18	9	11	21	18.6%
CL	売上高	5,323	2,659	2,968	5,626	5.7%
	営業利益	45	20	30	51	11.8%
GT	売上高	4,511	2,571	3,467	6,038	33.9%
	営業利益	10	5	6	11	14.1%
HL	売上高	949	420	544	964	1.6%
	営業利益	37	12	25	37	0.9%
TL	売上高	—	14	16	30	—
	営業利益	—	△4	△4	△9	—
その他 (調整額等)	売上高	17	7	8	15	—
	営業利益	△19	△9	△12	△21	—
全社【計】	売上高	11,857	6,275	7,868	14,142	19.3%
	営業利益	90	33	57	90	△0.6%

※ 2011年3月期実績は現在の組織で組み替えております。

成長戦略 1. コア事業の強化

■ IM事業本部

新規顧客獲得による販売数量拡大

- ・ 各エリアでの新規顧客獲得戦略を積極的に推進。

⇒ 灯油・軽油・A重油・アスファルトを中心に前年度を上回る販売数量を達成

アスファルト基地の増設(北海道・大阪)

- ・ 2012年2月に苫小牧アスファルト基地、2012年3月に大阪アスファルト基地を増設。

⇒ 販売数量拡大のため全国に供給網を拡大(全国10カ所)

LNGビジネスの強化

- ・ 2011年8月に四国ガスエネクス(株)を新設。(出資比率:四国ガス65%、伊藤忠エネクス35%)

⇒ 四国域内におけるLNG・天然ガス供給事業を拡大

成長戦略 1. コア事業の強化

■ CL事業本部：グループ会社の再編

- ・ 2010年度に実施した4エリアにおけるグループ会社の再編により、経営基盤の再構築を実行。
- ・ 年間を通じて安定したカーライフ収益を確保するCS経営へ。(季節要因の影響を最小化)

⇒ 連結子会社全社(5社)が前年同期からの大幅な収益改善を達成

■ GT事業本部：自社配給船による物流強化

⇒ 船舶燃料油の販売数量拡大を達成

■ HL事業本部：LPガス販売事業のエリア戦略の推進

- ・ 関東エリアに3つあったグループ会社を統合。大消費地区である関東エリアでの競争力を強化。(2011年7月実施)
- ・ 西日本エリアにて(株)メロンガスを伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)に統合。(2011年10月実施)

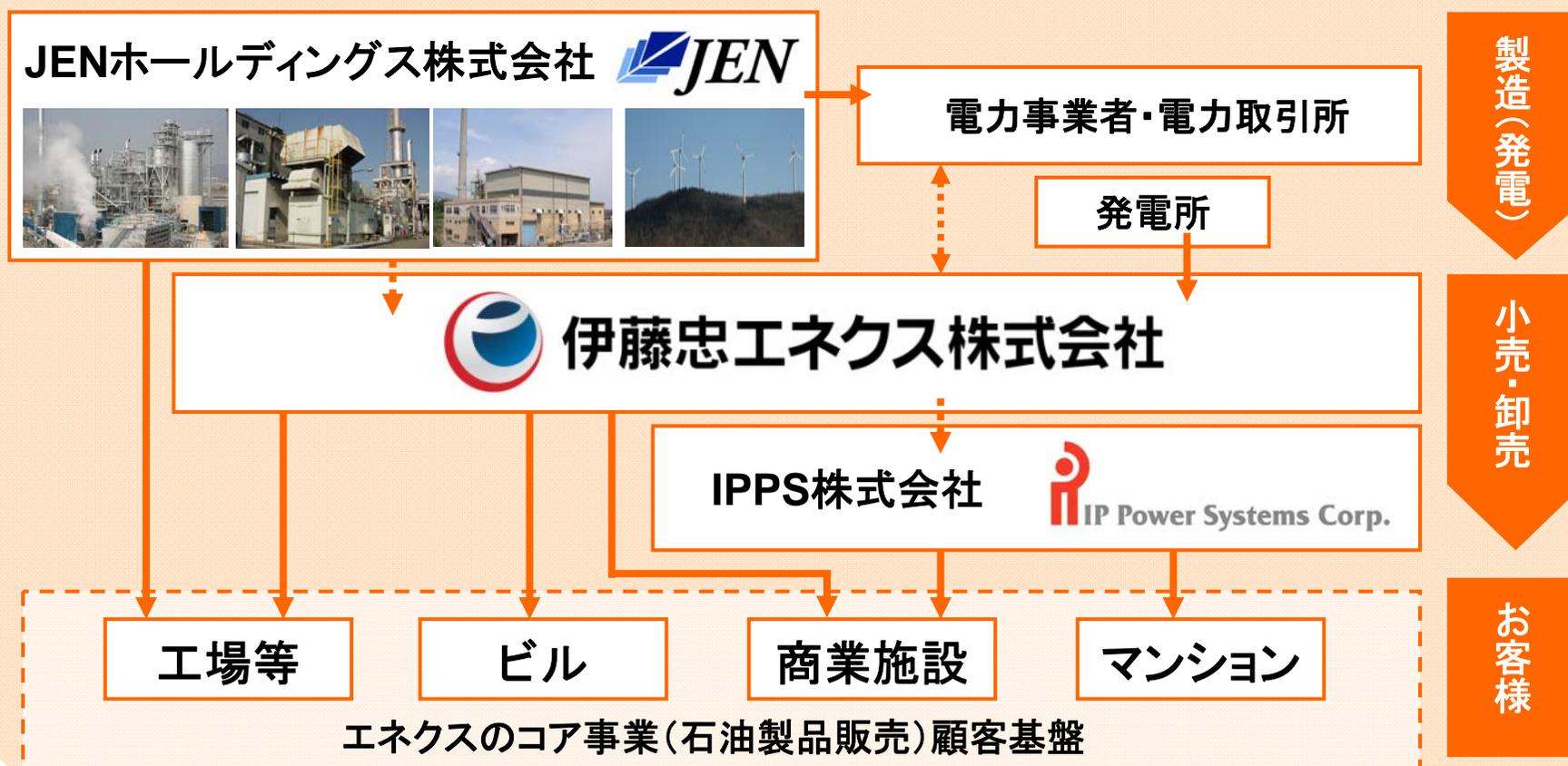
⇒ LPガス販売事業の基盤拡大と競争力の強化を実行

成長戦略2. 新規事業の展開

(1) 電力関連事業の強化

2011年2月にIPPS(株)、2011年3月にJENホールディングス(株)をグループ会社化。

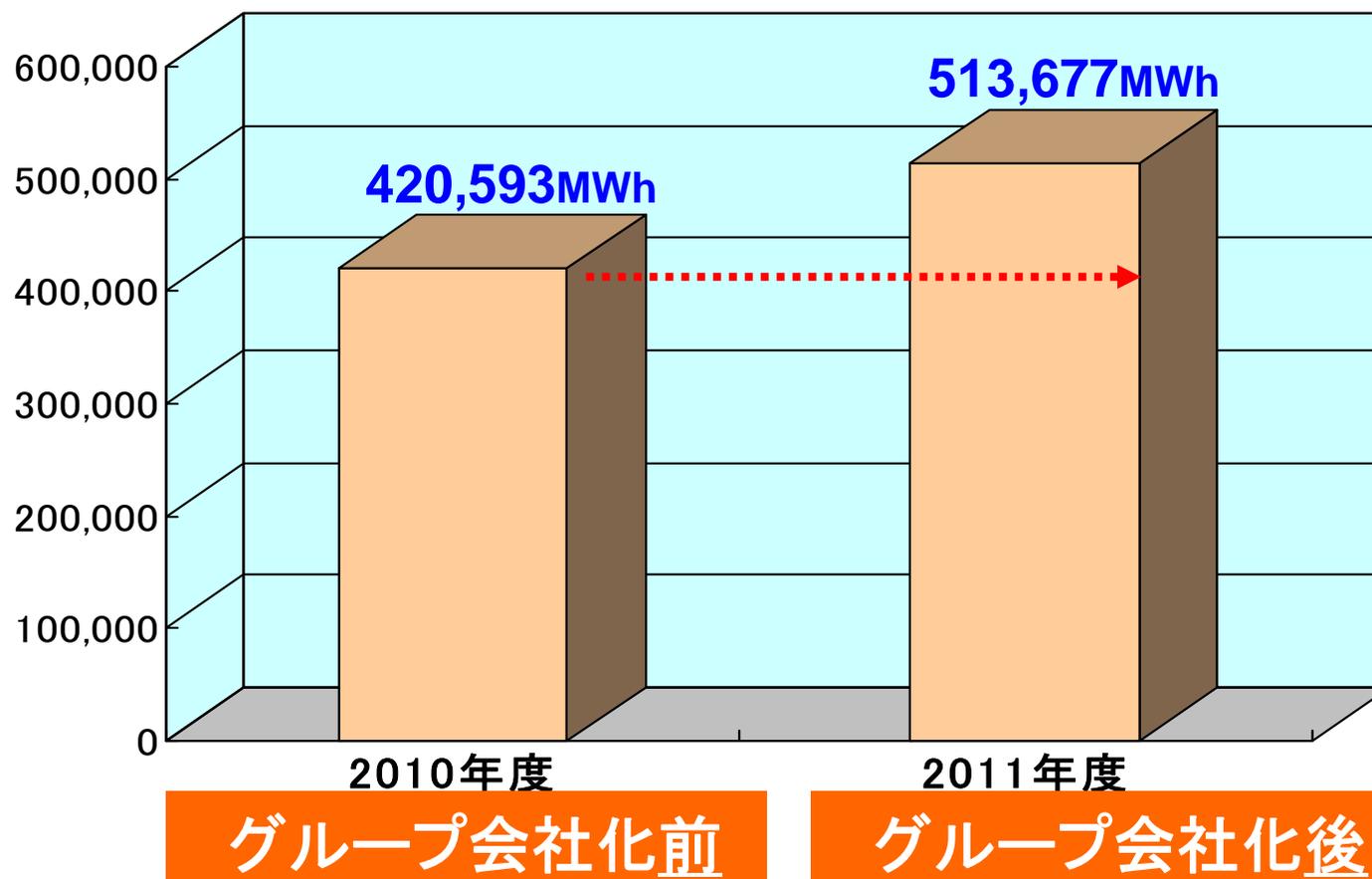
川上と川下に進出し、拡大する電力関連事業



成長戦略2. 新規事業の展開

(1) 電力関連事業の強化

【 JENホールディングス 総発電量数 】



成長戦略2. 新規事業の展開

(1) 電力関連事業の強化

■ JEN防府への投資実行



設備(ボイラー・タービン・ジェネレーター)の更新
による発電効率の向上と原料費の低減



(写真)防府エネルギーサービス株式会社

■ JEN上越への投資実行



ガスエンジン新設による出力量の増強



(写真)上越エネルギーサービス株式会社

成長戦略2. 新規事業の展開

(2) 熱供給事業への参入『エネルギーはトレンド』

【国の方針】
 2020年に1990年比
 CO₂を25%削減！

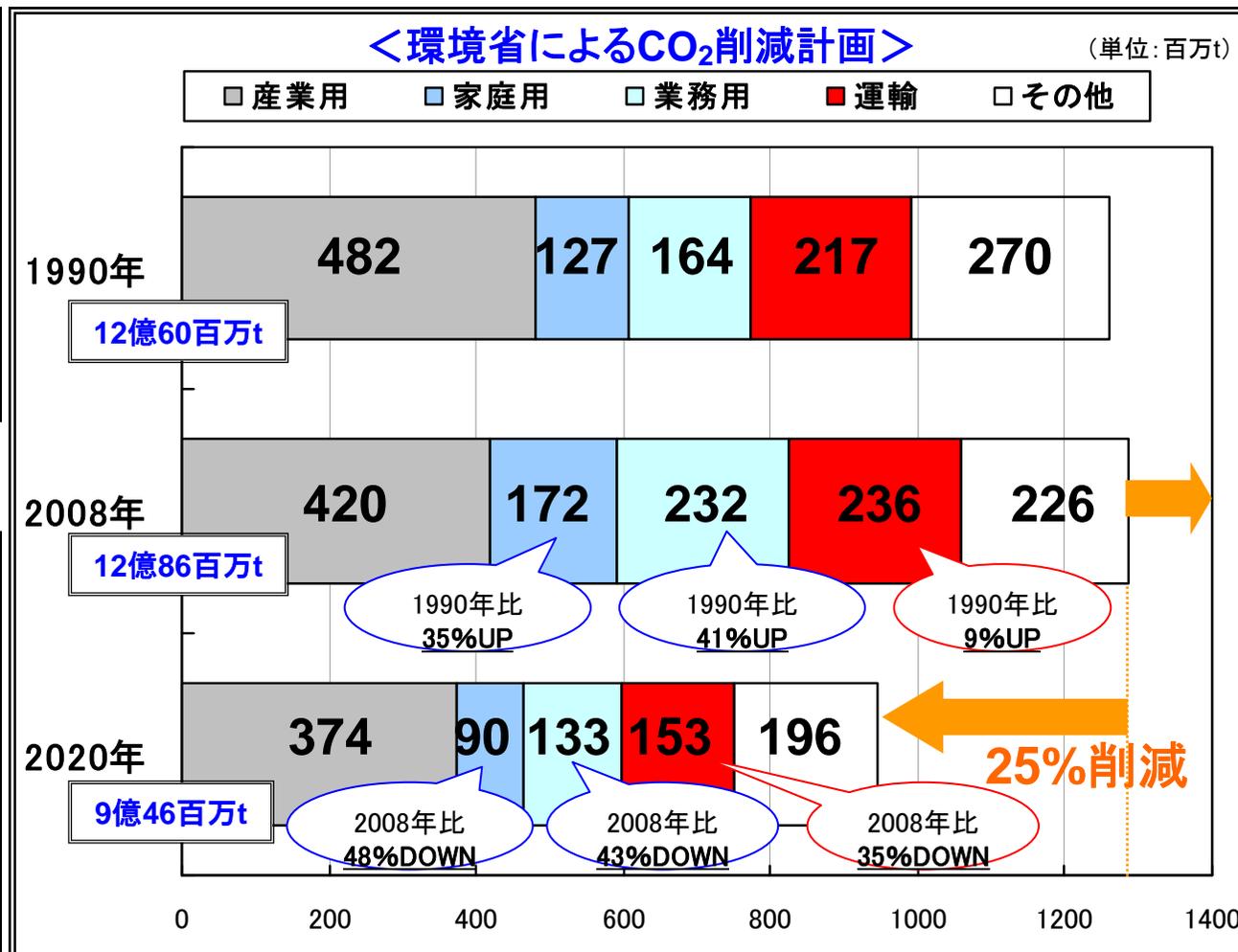
↓

【社会】
 低炭素社会へ！
 (脱化石燃料)

【CO2排出量の現状】
 1990年から増加傾向
 (家庭/業務用・運輸部門が増加)

↓

【課題】
 民生/業務用・運輸部門
 の削減！



成長戦略2. 新規事業の展開

(2) 熱供給事業への参入 [東京都市サービスの株式買収]

■会社名	東京都市サービス株式会社
■所在地	東京都港区南麻布2-11-10
■設立	1987年9月9日
■株主	伊藤忠エネクス:66.6%、東京電力:33.4%
■売上高	109億円(2011年3月期)
■当期純利益	7億円(2011年3月期)
■総資産	175億円(2011年3月期)
■事業所	熱供給センター17ヶ所 (東京12・神奈川2・千葉1・北関東2) 蓄熱技術センター1ヶ所

成長戦略2. 新規事業の展開

(3) トータルライフ事業の展開

2011年4月 トータルライフ事業本部の新設

コア事業である石油製品・LPガス販売事業に加え、太陽光発電システムや家庭用燃料電池「エネファーム」などの販売事業を展開。

⇒ **生活者向けエネルギー総合提案事業の拡大
(BtoC事業への進出)**

電動バイク「e ランナー」への取組み

- ・ リチウムイオン電池搭載
- ・ 電池を取り外して自宅で充電が可能
- ・ 軽量コンパクトで女性も扱いやすいサイズ



家庭用リチウムイオン蓄電システムの開発

- ・ 夜間の安い電気を蓄えて昼間に使うことで電気代を削減
- ・ 非常時には停電を自動で感知し蓄えた電気を利用



成長戦略2. 新規事業の展開 (3) トータルライフ事業の展開

地域に密着し、車と住まいの商材提案を行う「eコトショップ」をオープン

■eコトショップ四街道

千葉県四街道市に2012年1月オープン



■eコトショップ四季が丘

広島県廿日市に2012年3月オープン



成長戦略2. 新規事業の展開

(4) 海外事業の積極展開

グローバル事業本部「海外プロジェクト開発部」新設

太平洋地域での石油製品輸入卸売事業に参画

- ・ 2011年12月、パラオ共和国で石油製品輸入事業から卸売事業を展開するIP&Eパラオ社に資本出資。
- ・ IP&Eパラオ社のパラオ共和国におけるシェア率は約50%。
(年間販売数量:約3万KL)

【パラオ共和国概要】

面積 : 488km²(屋久島と同等)

GDP : 1億6400万ドル(約126億円)



Core&Synergy2013

グループ中期経営計画



～変革の実行を通じて新たなステージへ Phase II～

対象期間

3カ年(2011年度～2013年度)

基本方針

50年にわたって培ってきた様々なネットワーク、資産を総動員しCore事業の強化・高度化と、創造型需要の開拓と取り込みを行い、エネルギーのベストミックス提案型企业として地域社会と共に持続的な成長を実現しながら、収益拡大を狙う。

2013年3月期通期見通し

(単位: 億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	【参考】 2011年3月期 通期実績
売上高	14,142	13,800	△2.4%	11,857
営業利益	90	116	29.3%	90
経常利益	95	113	19.3%	96
当期純利益	39	52	33.6%	39

産業マテリアル事業

(単位: 億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	(前年通期実績)
売上高	1,468	1,660	13.1%	1,057
営業利益	21	25	20.4%	18

< 2013年3月期の取組み >

- エリア戦略の推進によるさらなる新規顧客獲得と拡販
- アスファルト基地の増設及びアスファルト運搬船の新造による物流機能強化
- 電力関連事業の強化と熱供給事業への参入
(JEN・IPPS・TTSとの連携)

カーライフ事業

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	(前年通期実績)
売上高	5,626	5,745	2.1%	5,323
営業利益	51	54	6.9%	45

< 2013年3月期の取組み >

- エリア戦略の推進によるCS拠点数の拡大
- リテール機能の強化による既存販売店及びグループ会社の収益安定化
- 石油製品流通機能の高度化

グローバル事業

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	(前年通期実績)
売上高	6,038	5,310	△12.1%	4,511
営業利益	11	18	63.0%	10

< 2013年3月期の取組み >

- 組織再編による供給力・需給調整能力・コスト競争力の向上
- 自社支配船の運航効率化
- 国内外の営業力強化による船舶向け販売数量の拡大
- 幅広い情報収集による海外事業投資案件の発掘

ホームライフ事業

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	(前年通期実績)
売上高	964	1,025	6.3%	949
営業利益	37	45	20.9%	37

< 2013年3月期の取組み >

- 事業統合・再編による各エリアでのシェア拡大
- 太陽光発電システム、家庭用燃料電池「エネファーム」等の新エネルギー機器の販売拡大
- ベストミックスのエネルギー提案によるLPガス販売店の新規系列化及びLPガス販売事業の拡大

トータルライフ事業

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減率	(前年通期実績)
売上高	30	50	69.0%	—
営業利益	△ 9	△ 4	—	—

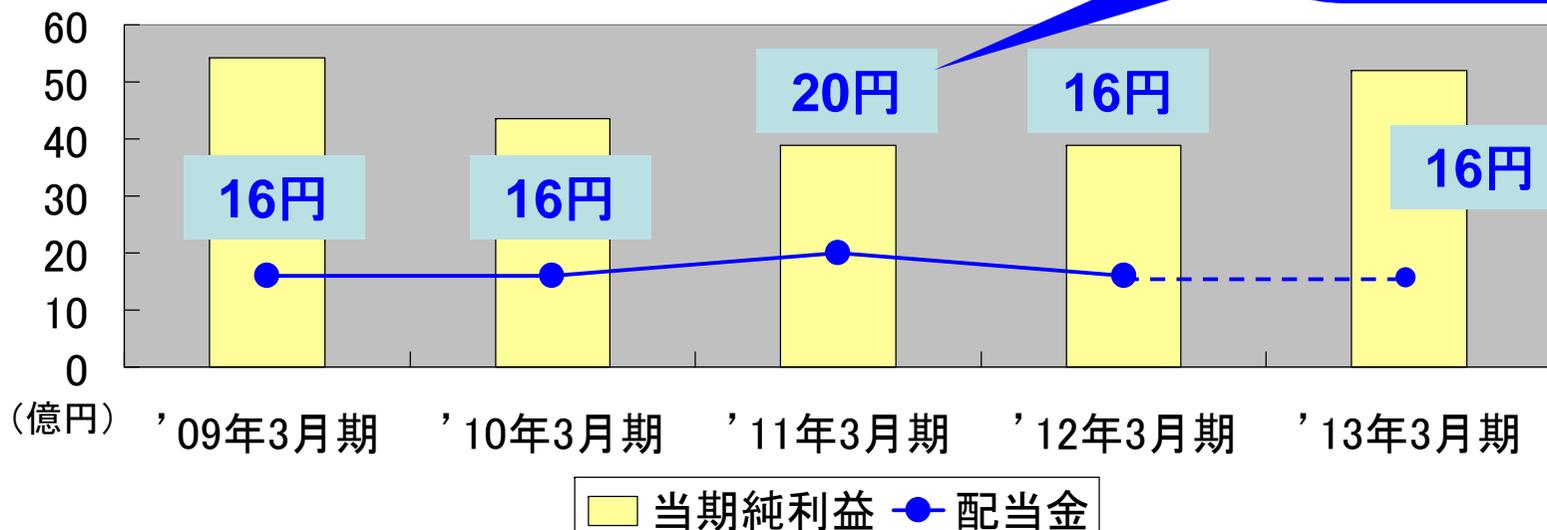
< 2013年3月期の取組み >

- 各事業本部との連携による販売ネットワークの構築
- ベストミックスのエネルギー提案による創造型需要ビジネスの開拓・展開
- 家庭用リチウムイオン蓄電システムの開発・販売

配当方針

- 配当性向30%以上を目標。
- 通期の配当は業績を勘案しながら対応。

創立50周年
記念配当の実施



	'12年3月末	'13年3月末 見通し
配当性向	46.8%	34.8%
EPS(1株当たり当期純利益)	34.2円	46.0円
BPS(1株当たり株主資本)	826.6円	857.4円

ご清聴ありがとうございました

(1)ご注意

●資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

●また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

(2)問い合わせ先

伊藤忠エネクス株式会社 IR広報室
【TEL】03-6327-8003 【FAX】03-5418-2204
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com